

みのりランチ月報

12月 1月 合併号

みのりランチ企画では、食を通して他者を知るというテーマをもとに、ランチ会形式のコンサートを開催してきました。今年度は手段を変えて、取手にゆかりのある藝大生を彼らの思い出のおかずとともに紙面で紹介する「みのりランチ月報」を毎月発行します。入れ替わり立ち替わり取手にやつてくる藝大生。おかげを通して少しでも彼らを感じていただきたいと思います。

「みのりランチ月報」第3号は12月1月合併号です。コラボアーティストとして、藝大取手校地にまつわるリサーチを行う田中ジョン直人さんと、名付けて藝大・小文間みのりマップ。みなさんはいくつご存知でしょうか。



僕が藝大生になつたのは大学院からで、それまではアメリカ・カリフォルニア州の大学で農学を専攻していました。現地の学生は皆寮で暮らしています。寮付属の食堂では食べ放題形式で楽しみました。出汁などの「うまい」を恋しく感じることもありました。

木彥は幕末から明治にかけての名工・後藤縫之助の作とされ有名。

①白山神社 (甘酒)

16世紀半ばに建てられた神社で、本殿の室と取手アートプロジェクトで、やぎをキャラクターで飼う計画がスタート(予定)。まずは2頭から少數で始めるが、ゆくゆくは山羊乳でチーズを作れるくらいにまで広げたいとのこと。

②東京藝術大学 (やぎ)

今年の12月から先端芸術表現科小沢剛研究室と取手アートプロジェクトで、やぎをキャラクターで飼う計画がスタート(予定)。まずは2頭から少數で始めるが、ゆくゆくは山羊乳でチーズを作れるくらいにまで広げたいとのこと。

③中妻貝塚 (しじみ)

小文間地区には複数の貝塚があるが、その中でも最も有名なものの、繩文後期にこの地域一帯に住んでいた人たちの食生活がうかがえる。またこの貝塚からは92年以降、100体以上の人骨が見つかっている。発掘報告書には虫歯の有無まで一つ一つについて詳細にわたり記録されている。現地では、繩文の人達が舌鼓を打つたであろう貝殻が今も広く地面に散らばっている。

④香取神社 (ピンヤキ)

香取神宮から分祀された神社。オビシャと呼ばれる儀式がこの地域では正月時期に広く行われている。まず、竹で作られた矢で御馳走がふるまわれる。そして、神社の守護の役目と祀られている神様が続いて、神社間で移行される。そしてその日の終わりには紙で出来た的を射ることで、一年の運勢を占う。ここ香取神社ではジギョウ(一升瓶を使った擬似地囮め)を行う組と、鮒のピンヤキ(鮒を焼いて、唐辛子入りの味噌を塗つたもの)を作る組がある。

藝大・小文間みのりマップ



⑤藝大裏の池 (鴨)

江戸時代末期に著された『利根川図志』には、利根川での鮭漁について掲載がある。郷土史家によれば、漁法には2つあったらしい。「無双網」組織的な漁法。明治時代には、利根川での鮭漁について掲載がある。郷土史家によれば、漁法には2つある。郷土史家によれば、漁法には2つある。郷土史家によれば、漁法には2つある。

⑥利根川 (鮭)

11月から2月にかけて、地域の方はここで鴨の狩猟を行っている。茨城県の利根川河川敷は基本的に鳥獣保護区となっているが、この池周辺は「特定獣具使用禁止区域」としてこの一帯では唯一、鉛を使わない獣が認められる。郷土史家によれば、漁法には2つある。郷土史家によれば、漁法には2つある。郷土史家によれば、漁法には2つある。

⑦眉安荘 (胡麻じるこ)

1942年から1947年にかけて、平塚においてうどんの奥村博史、母、姉が暮らしました。東京から移り住んだらいてう一家は近くの川で釣りをして、地元の住民にも教えた多様性や豊かさをさらに知りたくなった僕は、特に芸術に関心を持つようになります。藝大に進学。今に至ります。



材料 約一人分

豚肉小間切れ 130g・にんにく1かけら・ごま油小さじ2・野菜(小松菜や人参、椎茸などお好みで)・水溶き片栗粉(水大さじ1+片栗粉小さじ1)
下味:薄口醤油小さじ2・オイスターソース小さじ2・コショウ少々・片栗粉大さじ1

調味料A:味噌大さじ1・水300cc
調味料B:薄口醤油小さじ1・鶏ガラスープの素小さじ2・砂糖小さじ2

- ①豚肉は下味に漬けこみ、野菜は食べやすい形にカット、調味料A・Bはそれぞれ混ぜておく
- ②フライパンにごま油とにんにくを入れ炒め、香りがでたら豚肉を追加し火を通す
- ③調味料Aをプライパンへ追加、沸騰するまで煮込む
- ④調味料Bと残りの具材を全て投入、火を通す
- ⑤水溶き片栗粉を回し入れ、とろみをつけて完成!

学生寮食堂の豚肉ラートナー (和風アレンジ)



東京藝術大学取手校地は、おかげさまで1990年の供用開始から30周年を迎えました。そこで「取手校地30周年記念展」と称して、取手上野で卒業展示として2020年1月29日から2月2日まで、そして取手駅ギャラリー口で3月10日から16日まで、そして取手上野で卒業展示として3月17日から30日まで公開予定です。是非、お越しください!
「田中ジョン直人」1994年、東京生まれ。カリフォルニア大学デービス校農業環境学部および文理学部卒業。会社員を経て、東京藝術大学大学院美術研究科グローバルアートプログラムティスティック専攻在籍。



田中さんよりメッセージ

おかげ思い出提供
コラボアーティスト
たなかじょん なおと
田中ジョン直人

おかげを作つたよという報告やおかげのエピソードなど、皆さんからのご意見・ご感想を募集しています。こちらの連絡先までお寄せください。FAX: 0297-84-1875 MAIL: tap-info@toride-ap.gr.jp

次回2月号では
取手市在住の藝大院生、
小野澤峻さんをご紹介します。
みなさま、よいお年をお迎えください!

その他出典／『小文間物語』(饗場芳隆著、2010)『中妻貝塚発掘調査報告書』(取手市教育委員会著、1995)
『平塚らいてうを学ぶ会 呼びかけ号』(大橋幸雄著、1990)

主催・発行／取手アートプロジェクト実行委員会 企画・編集／幅谷真理 写真／加藤優里 マップ・イラスト／田中直人
助成 文化庁令和2年度文化芸術創造拠点形成事業・自治総合センター令和2年度地域の芸術環境づくり助成事業



取手のみなさんこんにちは!田中ジョン直人と申します。現在藝大取手校地をめぐる歴史の研究をしています。ここに集めたのは研究を続けていく中で知ることとなつた取手校地を巡る思い出のおかずの数々、名付けて藝大・小文間みのりマップ。みなさんはいくつご存知でしょうか。



ネットからも
藝大・小文間みのりマップを見ることができます!

